



小さな子供にお薦め！「ママンペール」で紹介された絵本 展示資料リスト



NO.2(2008.AUTUMN)～NO.38(2017.4.20)に掲載された絵本のリストです。(NO.10除く)

平成 29年 4月
広島県立図書館

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 2 (2008. AUTUMN)					
アストンの石	ロッタ・ゲッフェンブラード／作，菱木晃子／訳	小峰書店	2006	E / ㇔	「どうして，そんなものを？」と言われても，本人にとっては，かけがえの無い宝物ということがある。 子犬のアストンは，ある日見つけた石のことがかわいそうになり，こっそり家に持って帰ったのだが…。
かいじゅうじまのなつやすみ	風木一人／作，早川純子／絵	ポプラ社	2006	E / カ	「ざっばーん！」「ぎゃうおー！」今日も怪獣たちは，世界中で大暴れ。夏休みには島に戻ってきて，どれだけ悪いことをしたかをみんなで見せ合おうのです。でも，本当は…？
ウェン王子とトラ	チェンジャンホン／作・絵，平岡敦／訳	徳間書店	2007	E / ㇔	中国の山の奥深く。子どもを殺されたトラは，怒り狂っていた。そこへ幼いウェン王子が遣わされる。傷に触れられたトラが，王子をかみ殺そうと，大きく口を開けたその時！
まるまるだんごむし	須田孫七／監修，榎本功／写真撮影	ひさかたチャイルド	2006	485 / ス	まるまる。もぞもぞ。手のひらにのせると，くすぐったい。透き通っただんごむしの赤ちゃんの写真もかわいらしい。
NO. 3 (2008. WINTER)					
バスがきました	三浦太郎／さく・え	童心社	2007	E / ミ	オレンジのたてがみのバス停に，ライオンの形のバスがやってきました。耳の形をしたバス停には，どんなバスがやって来るのかな？よく見ると，道の色もピンク，黄色，水色とカラフルで，楽しくなっちゃう。
つかんでぱっくん	わかやましずこ／さく	童心社	2008	E / ワ	きいろいバナナの方へ，するするするっとのびてきたのは何？「さるのしっぽ！」 だいたいいろのみかんに向かってびゅーんとのびてきたのは何？ 「かめれおんのした！」
ねんね	さえぐさひろこ／文	アリス館	2004	E / サ	小枝にしがみついて眠っているリス。お母さんの袋の中で気持ちよさそうに目をつむっている赤ちゃんカンガルー。見ている方も「ねんね」したくなる写真絵本。
くだもの	平山和子／さく	福音館書店	1981	E / ヒ	ぶどう，なし，くり…。おいしそうなくだものを，むいて，切って「さあどうぞ。」本物そっくりの絵に，赤ちゃんも手をのぼしそう。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 4 (2009. SPRING)					
おならうた	谷川俊太郎／原詩，飯野和好／ 絵	絵本館	2006	E / ㌥	「いもくってぶ」「くりくってぼ」。なんてリズムカルなおならの数々。歩いている時，転んだ時，お風呂に入った時。ときにはこっそりすかしてしまう女の子もいます。
わにさんどきっ はいしゃさんどきっ	五味太郎／作絵	偕成社	1984	E / コ	歯医者に行きたくないわにさんと，仕事をしたくない歯医者さん。お互いの姿を見て「どきっ」として「どうしよう」「でもがんばるぞ」と思います。なぜだか二人は，最後まで全く同じセリフを言い合っていますよ。
うごく浮世絵!?	よぐちたかお／作，アーサー・ ピナード／英文	福音館書店	2005	C / 7	歌舞伎役者のまゆげがぴくぴく動いたり，ちょうちょの羽がひらめいたり。付属のマジックフィルムを上下左右に動かすと，カラフルな浮世絵が本当に動き出します。
オオカミだー!	ステファニー・ブレイク／作 絵，ふしみみさを／訳	PHP研究所	2006	E / フ	うさぎのシモンは，何か注意されると突然「オオカミだあ！」と叫ぶので，みんな慌てて逃げていきます。でも，最後には…。
NO. 5 (2009. SUMMER)					
おばけだぞおー!	ジャック・デュケノワ／さく， おおさわあきら／やく	ほるぷ出版	2001	E / テ	かべをするっとおれちゃうし，きえちゃうこともできる。おばけってすごいでしょ。でも「あ・れ」だけは苦手なんだ。
ねないこだれだ	せなけいこ／さく・え	福音館書店	1969	E / セ	まっくらな中，まだ起きているのは誰かな？よなかにあそぶ子は，おばけになってしまうぞ。
こんたのおつかい	田中友佳子／作・絵	徳間書店	2004	E / ㌥	おつかいに出かけたこんたは，「おあげ，おあげ」と繰り返し言いながら森の中に入りました。すると大きなたんぐやおに，そしてたくさんのおばけたちが…。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 6 (2009. AUTUMN)					
子リスのアール	ドン・フリーマン／さく， やましたはるお／やく	BL出版	2006	E / フ	子リスのアールは，生まれて初めて自分でどんぐりを取りに行くことになりました。でも，どんぐりってどこにあるのでしょうか？
落ち葉	平山和子／文と絵， 平山英三／構成と写真	福音館書店	2005	C / 6	足元に広がるたくさんの落ち葉。良く見ると，色とりどりで形も様々です。 1枚ずつじっくり描かれた葉っぱの美術館を御鑑賞下さい。
さつまのおいも	中川ひろたか／文， 村上康成／絵	童心社	1995	E / ナ	おいもたちは，いつも土の中でくらしています。 さぁ今日は，いもほりに来た子どもたちと綱引きです。「うんしょとこしょ」最後に勝つのは，どっちかな？
おひさまいろのきもの	広野多珂子／作・絵	福音館書店	2007	E / ヒ	「ふうも あたらしい きものをきて あきまつりにいきたい」…。目の見えない「ふう」は，おかあさんが赤く染めてくれた糸を，自分で機織りしようとするのでした。
NO. 7 (2009. WINTER)					
サンタクロースってほんとにいるの？	てるおかいつこ／文， すぎうらはんも／絵	福音館書店	1982	E / テ	「どうしてぼくがほしいものがわかるの？」「どうやってひとばんでせかいじゅうをまわれるの？」…。 サンタクロースについて，聞かれたらなんて答えますか？
ごろごろどっしーん	西内ミナミ／ぶん， 山内ふじ江／え	福音館書店	1999	E / ニ	あしたはクリスマス。リリこちゃんは山の上から，おばあちゃんにぶどうジュースを届けに行きます。ジュースのびんがころがって，りすさんをまきこんで，うさぎさんもまきこんで…。
まどから★おくりもの	五味太郎／作・絵	偕成社	1983	E / コ	サンタさんは，まどから少しだけ見える中の様子に合わせてプレゼントを置いていきます。でも，なんだか贈る相手を間違えているみたいですよ。 穴のあいた窓をめくるのが楽しいしかけ絵本です。
ぐうたらサンタとはたらきもののひつじ	うすいかなこ／文・絵	ソニー・マガジズ	2005	E / ウ	ひつじのトトは，子どもからの手紙を読んでクリスマスプレゼントを決めたり，トナカイやサンタクロースの世話をしたりと大忙しです。トトがいないと，サンタの部屋は汚れ放題。どうなるのかな？

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 8 (2010. SPRING)					
にんじんさんがあかいわけ	松谷みよ子／ぶん，ひらやまえいぞう／え	童心社	1989	E / マ	にんじんさん，ごぼうさん，だいこんさんが，連れ立ってお風呂へ行ったよ。まずはゴボウさんが，お風呂に飛び込んだ。「あちち」！
やさいのおなか	きうちかつ／さく・え	福音館書店	1997	E / キ	やさいの断面（おなか）が，白黒で描かれています。何のやさいかわかるかな？大人でも，全問正解は難しいかも。親子で楽しめる絵本です。
うさこちゃんのはたけ	ディック・ブルーナ／ぶん・え，まつおかきょうこ／やく	福音館書店	2005	E / フ	畑作りを任されたうさこちゃん。土を耕して，種をまき，じょうろで水をやりました。おいしいにんじん，できるかな？
やさいはいきている	藤田智／監修，岩間史朗／写真撮影	ひさかたチャイルド	2007	626 / フ	やさいの切れ端を，水をはった皿につけて育ててみよう。キャベツ，大根，じゃがいもなど，色んなやさいでチャレンジ！どんなふうになるのかな。
NO. 9 (2010. SUMMER)					
ごぶごぶごぼごぼ	駒形克己／さく	福音館書店	1999	E / コ	ぷくぷくぷくん，ごぼごぼ，じゃわじゃわ，ざぶん。楽しい音の響きと穴の開いたページに，赤ちゃんも引き込まれるはず。
かいじゅうのこんだて	中川ひろたか／文，村上康成／絵	PHP研究所	2003	E / ナ	かいじゅうが，大きな口を開けて，1時にいちじくを1個，2時ににんじんを2本，3時にさんまを3匹食べて…。さて，かいじゅうは12時にはどうなった！？
こぶたたんぽぽぽけっととんぼ	馬場のぼる／作	こぐま社	1990	E / ハ	ぶた，たぬき，きつねがスケートボー「ド」で「ど」ろん「こ」に突っ込むと「こ」ねこが大笑い。それから…？
へんしんクイズ	あきやただし／作・絵	金の星社	2009	E / ア	かっぱ兄さんが出すクイズ，わかるかな？声に出して繰り返すと，答えが現れる！？思いがけないことばの変身に，盛り上がること間違いなし。
NO. 10 (2010. AUTUMN) 記事掲載なし					

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 11 (2010. WINTER)					
おならうた	谷川俊太郎／原詩，飯野和好／絵	絵本館	2006	E / タ	「いもくって ぶ」「あるいて び」「すかして へ」思わず笑いが出ちゃう、おならの数々！詩と絵が見事にマッチした絵本です。親子で声に出して読んで、笑ってください。
みんなおはよう	こしだミカ／絵，まみようかな／作	架空社	2010	E / マ	おひさまが目を覚まして、「おはよう」とごあいさつ。とり、やぎ、かえるもみんな「おはよう」。おやっ、まだ起きていないのは…？
だいすきひゃっかい	村上しいこ／さく，大島妙子／え	岩崎書店	2007	E / ム	夜になっても眠くないはるなは、お母さんになぞなぞを出しました。「ねるまえに はるなが いくのは どこでしょうか！」。子どもをぎゅっと抱きしめたいくなる絵本です。
ぼちぼちいこか	マイク=セイラー／さく，ロバート=グロスマン／え，いまえよしとも／やく	借成社	1980	E / セ	消防士，パイロット，バレリーナ…。かばくんはいろんなお仕事にチャレンジしてみるけど，どうもうまくいきません。でもまあ「ぼちぼちいこか」。時には，立ち止まってみることも必要かもしれませんね。
NO. 12 (2011. SPRING)					
よくきたね	松野正子／ぶん，鎌田暢子／え	福音館書店	2009	E / マ	「おいで おいで ここまで おいで」お母さん犬が，やさしく呼びかけます。おぼつかない足取りでやってきた子犬に，「よくきたね いいこだね」とほめてあげるお母さん。心がほっとする絵本です。
いっしょにごはんたべよ	ペクソク／文，ユエロ／絵，ピョンキジャ／訳	平凡社	2005	E / ヘ	かえるが，兄さんにお米を分けてもらいに出かけました。すると，道で困っている生き物たちに出会います。かえるはみんなを助けてあげるのですが，そのうち，辺りはすっかり暗くなって…。
おしくら・まんじゅう	かがくいひろし／さく	ブロンズ新社	2009	E / カ	まんじゅうがこんにやくを押して「おしくらこんにやく」，納豆相手に「おしくら納豆」！押されたらどうなっちゃうの！？そして，次に「おしくら」されるのは…。
かあちゃんのせんたくキック	平田昌広／文，井上洋介／絵	文化出版局	2003	E / ヒ	動かなくなった洗濯機も，かあちゃんの気合いの一発で調子よく動き出す。家で，とうちゃんがおんぼろ洗濯機のように「があーががが」と寝ていた。果たして，かあちゃんのキックは飛び出すのか…！？

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 13 (2011. SUMMER)					
おでこぴたっ	武内祐人／さく	くもん出版	2008	E / タ	いぬさんとぶたさん、うさぎさんときりんさん、そして、パパとぼく…。みんな、おでこをぴたっとして、挨拶します。思わずまねしてみたくなるかわいいポーズを見ていると、触合いの楽しさを感じます。
ぼくのくつ	松成真理子／作・絵	ひさかたチャイルド	2006	E / マ	おばあちゃんにもらった新しい靴を、早く履きたいぼくは、古い靴のことなんか、「いらない。」とってしまいます。
ばけものでら	岩崎京子／文、田島征三／絵	教育画劇	2000	E / イ	村の寺には、化け物が出るという。しかし、旅の坊様は、平気で寺に乗り込んでいった。その夜出てきた化け物たちの正体は、なんと、捨てられた道具たちだった。
じゃがいもポテトくん	長谷川義史／作・絵	小学館	2010	E / ハ	八百屋さんで売られているのは、北国生まれのじゃがいも一家。毎日一人ずつ買われていって、家族はバラバラに…。けれど、ある幼稚園のお弁当の時間に、感動の再会を果たすのです！
むしのかお	新開孝／写真・文	ポプラ社	2010	C / 4	虫の顔はカッコいい？それとも怖い？目や鼻や口は、どんな形や色をしているのでしょうか。小さい虫の顔を、アップでじっくりと眺めることができる写真絵本です。
NO. 14 (2011. AUTUMN)					
パンツのはきかた	岸田今日子／さく、佐野洋子／え	福音館書店	2011	E / キ	トイレから出てきたぶたさんが、ゆっくり、パンツをはいていきます。「はじめに かたあし」。そして、「それから もう かたあし」。しっかりはいて、「できあがり」。…と思ったら、なんと、パンツが、裏返しでした。「あーあ」。
14ひきのあきまつり	いわむらかずお／さく	童心社	1992	E / イ	秋の森でかくれんぼ。あれれ、ろっくんが見付からない。みんなで探していると、「せいや せいや」「わっしょい わっしょい」と、どこからか声が聞こえてきて…。
くるくるくるみ	松岡達英／さく・え	そうえん社	2007	C / 6	ゆうかちゃんは、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、おいしいくるみ料理を作りました。くるみクッキー、くるみパン、くるみの入ったお寿司も、おいしそう。
たぬきのおつきみ	内田麟太郎／作、山本孝／絵	岩崎書店	2003	E / ウ	秋の豊作を喜ぶたぬきたち。お月様に感謝を伝えるため、お月見の準備をします。さて、たぬきたちが、お月様を喜ばせるためにしたこととは…！？
きのこ	高山栄／指導・絵	フレーベル館	2008	C / 6	きのこは、どこに生えるのでしょうか。森や公園の地面に生えたり、木に生えたり、虫の体から生えたり。形や色も、実に様々です。

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 15 (2011. WINTER)					
たまごのあかちゃん	かんざわとしこ／ぶん, やぎゆ うげんいちろう／え	福音館書店	1993	E / カ	「たまごのなかでかくれんぼしてるあかちゃんはだあれ？でておい だよ」のかけ声で、いろいろな動物が産まれてきます。元気いっぱい の赤ちゃんがかわいらしい本です。
パパ・カレー	武田美穂／作	ほるぷ出版	2011	E / タ	パパが作るカレーは、一味違います。材料は大きめ。そして、「バ ナナ」入り。読み終わる頃には、きっと、あなたも、カレーが食べた くなっていることでしょう。
ぼうし	井上洋介／えとぶん	イースト・ プレス	2011	E / イ	「ねずみや」さんで、ねずみの形の帽子を買いました。すると、ね ずみの主人が、おまけに、ねずみのしっぽをくれました。「もぐら や」さんでは、もぐらの手袋がおまけでした。さて、「ぞうや」さん では…？
かさじぞう	瀬田貞二／再話, 赤羽末吉／画	福音館書店	1966	E / セ	大晦日、6人のおじぞうさんが、おじいさんにかぶせてもらったか さのお礼にやってくる、おなじみの昔話。おじいさんとおばあさんの やさしさが、絵からも伝わってきます。
ふゆめがっしょうだん	富成忠夫／写真, 茂木透／写 真, 長新太／文	福音館書店	1990	C / 4	冬に、木の芽を見たことはありますか？よく見ると、みんな何かの 顔に見えてきます。帽子を被った子どもやウサギ、コアラ…。寒い 冬。春を迎える準備をしている木の芽のユーモラスな表情を楽しむ写 真絵本です。
NO. 16 (2012. SPRING)					
あかちゃんたいそう	鈴木まもる／作	小峰書店	2011	E / ス	赤ちゃんが、ねこさんとほっぺとほっぺをすりすりしたり、うさぎ さんと足と足とでキックをしたり、くまさんと背中と背中を合わせて 「かゆかゆ」したり…。愛らしい赤ちゃんが、動物たちと楽しそうに 「たいそう」します。
とんとんとんと	五味太郎／[作]	クレヨンハ ウス	2004	E / コ	こぶたがバスを待っています。「とんとんとん」と電信柱を登っ て、電線を「すーっ」と滑って…。こんな風に、とんとん拍子に行け るといいですね。
がまんのケーキ	かがくいひろし／作絵	教育画劇	2009	E / カ	大きなイチゴのケーキを目の前にして、こいたろうとかめぞうは、 食べるのを我慢しています。けろこさんが買い物から帰ってくるのを 待って、一緒にケーキを食べるためです。でも、よだれは出てくる し、おなかも鳴るし…。
おまたせクッキー	パット＝ハッチンス／さく, 乾侑 美子／やく	偕成社	1987	E / ハ	おかあさんがクッキーを焼きました。まるで、おばあちゃんが焼い たクッキーみたいにおいしいそうです。クッキーは、二人で分けると、 一人に六つずつです。でも、玄関のベルが鳴って、誰かがやって来ま した…。
ぼくは孫	板橋雅弘／作, 西村敏雄／絵	岩崎書店	2007	E / イ	おじいちゃんとおばあちゃんのうちは、まるで天国。パパやママと 違って、何で、とってもぼくに優しいんだろう。「それはおまえが孫 だから」とおじいちゃん。「ねえ、孫ってなあに？」

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 17 (2012. SUMMER)					
だるまさんが	かがくいひろし／さく	ブロンズ新社	2008	E / カ	大きなおなかをした真っ赤なだるまが、右に左に体を揺らしています。ページをめくると、「どてっ」と転げたり、思い切り「びろん」と伸びたり、予想を上回る動きを見せてくれます。
ぼくはブルドーザー!	三浦太郎／作	こぐま社	2011	E / ミ	働く車の好きな男の子が、砂場で大きなお城を作ります。ブルドーザーやショベルカーのように、「ガガガガガー!」「ザクザクザザン!」と、砂を集めたり掘ったり…。泥だらけになりながら、全身を使います。
ママ!	キム・フォックス・オーカソン／作, 高畠那生／絵, 枇谷玲子／訳	ひさかたチャイルド	2011	E / オ	食いしん坊で太っているママが恥ずかしいぼくは、隣に引っ越してきた、きれいな女の人の子どもになることにしました。ぼくは、女の人を「ママ」と呼ぼうとするのですが、なかなか言えなくて…。
とりをよぼう!		ひさかたチャイルド	2011	488 / ト	家の庭やベランダなどに、野鳥を呼んでみましょう。どんなえさを、どんな鳥が食べに来るのでしょうか? ジュースやお菓子でも鳥はやってくるのでしょうか? 身近な野鳥を、美しい写真で紹介しています。
おうさまジャックとドラゴン	ピーター・ベントリー／ぶん, ヘレン・オクセンバリー／え, 灰島かり／やく	岩崎書店	2011	E / ハ	幼い子どもたち三人が、「おうさまジャック」と「しょうぐんザック」と「チュッパおうじ」になりきって、巨大なドラゴンと戦います。ところが、夜になると…。
NO. 18 (2012. AUTUMN)					
おつきさまこんばんは	林明子／さく	福音館書店	2000	E / ハ	夜になると、家の屋根の上に、お月様がぼっかり顔を出しました。「おつきさまこんばんは」。お月様は、にっこりしたり、泣きそうになったり…。お月様の表情の変化に、引き付けられる絵本です。
どうぞのいす	香山美子／作, 柿本幸造／絵	ひさかたチャイルド	1981	E / コ	うさぎさんが作った「どうぞのいす」に、ろばさんがやってきました。ろばさんは、「どうぞのいす」に、どんぐりを置いて、お昼寝をします。そこに、くまさんがやってきて、置いてあったどんぐりを、全部食べてしまいました。
ぬ〜くぬく	飯野和好／さく, 山本孝／え	農山漁村文化協会	2007	E / イ	お寺の境内に、大根といもが並んでいます。日の光を浴びて、自分がどれだけおいしい干し大根や干しいもになるか、自慢合戦が始まりました。
やまなしもぎ	平野直／再話, 太田大八／画	福音館書店	1978	E / ヒ	「奥山の山梨が食べたい」という病気のお母さんのために出かける三兄弟。でも、太郎も次郎も途中で沼の主にげろりと呑み込まれてしまいます。とうとう三郎が出かけることに…。
きのこ：ふわり胞子の舞	埴沙萌／写真・文	ポプラ社	2011	C / 4	きのこから、けむりが出ています。それは、粉のような小さな粒。「胞子」です。渦を巻いたり風にのったり、舞い方もいろいろです。美しい写真の中には、なめこや椎茸の写真もあります。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 19 (2012. WINTER)					
なーらんだ	三浦太郎／作・絵	こぐま社	2006	E / ミ	歩いているアリや、飛んでいる鳥、車に洗濯物。ばらばらに散らばっていたものが、ページをめくると…。きれいに、「なーらんだ」。
ごろごろどっしーん	西内ミナミ／ぶん、山内ふじ江／え	福音館書店	1999	E / ニ	クリスマス前日、リリこちゃんは、おばあちゃんの家でジュースを届けに出かけました。ところが、雪の坂道でびんを落としてしまいます。びんは雪をまわって丸くなり、いろいろな物を巻き込みながら転がりました。
しんせつなともだち	方軼羣／作、君島久子／訳、村山知義／画	福音館書店	1987	E / フ	雪の日、食べ物を探しに行ったこうさぎは、かぶを二つ見つけます。一つは自分で食べ、もう一つは、ろばの家に持って行き、そっと置いて帰りました。
みかん	中島睦子／作、こうやすすむ／監修	福音館書店	2004	C / 4	みかんを縦や横に切ると、どうなっているでしょうか。みかんの「へた」を取ると、下にあるのは？知っているようで知らないみかんの仕組みが、写実的な絵で描かれています。
スノーマン	レイモンド・ブリッグズ／[作]	評論社	1998	E / フ	男の子が、自分の背丈よりも大きな雪だるまを作りました。夜中に目が覚めた男の子が外に出てみると、雪だるまは動き出しました。字のない絵本です。
NO. 20 (2013. SPRING)					
おててがでたよ	林明子／さく	福音館書店	1986	E / ハ	大きなシャツをかぶっている赤ちゃん。上手におててを出せるかな。おててができれば、今度は頭。頭の次は…。みんな上手に出せるかな？
ハのハの小天狗	飯野和好／作	ほるぷ出版	1991	E / イ	春も盛りのある日、学校からの帰り道、「ハのハの」は峠で忍者たちに襲われてしまいます。びっくりして身構えると、いつの間にか「ハのハの小天狗」に！姫を守るため忍者たちに立ち向かいます。
さくらのいろのランドセル	さえぐさひろこ／作、いしいつとむ／絵	教育画劇	2008	E / サ	さなちゃんは、春になると小学校の一年生です。友だちのらんちゃん、桜色のランドセルをおそろいで買おうと、約束しました。そんなある日、おばあちゃんからランドセルが送られてきます。
たんぽぽ	甲斐信枝／作・絵	金の星社	1984	479 / カ	地面いっぱい葉っぱを広げたたんぽぽが、鮮やかな黄色い花を咲かせます。たんぽぽのつぼみやびかびかのわたげが、丹念に描かれています。
よもぎだんご	さとうわきこ／さく	福音館書店	1989	E / サ	元気いっぱいのばばあちゃん、みんなで春の野原に出掛けます。いろいろな葉っぱを採ってきて、草のお料理を始めます。一体何ができるのかしら。

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 21 (2013. SUMMER)					
おふろでちゃぷちゃぷ	松谷みよ子／文，いわさきちひろ／え	童心社	1994	E / マ	あひるちゃんは、タオルと石けんを持って、どこにいくのかな？「いいところ いいところ」。おふろが大好きになりそうな絵本です。
トマトさん	田中清代／さく	福音館書店	2006	E / タ	ある暑い夏の昼下がりに。水遊びをしに小川に行くトカゲたちに、「およぐのなんか、みっともないでしょ」と言うトマトさん。本当は泳ぎたいけど、体が重くて動けないのでした……。
はちうえはぼくにまかせて	ジーン・ジオン／さく，マーガレット・ブレイ・グレアム／え，もりひさし／やく	ペンギン社	1981	E / シ	トミーは、夏休みに家を留守にする人の鉢植えを預かることにしました。家の中は鉢植えでいっぱいです。トミーがきちんと世話をすると、植物はどんどん大きくなりました。
やぶかのはなし	栗原毅／ぶん，長新太／え	福音館書店	1994	C / 4	人の血を吸うのは、雌の蚊だけって知っていましたか？おなかの中の卵を育てるために、栄養のある血が必要なのだそうです。意外と知らない蚊の生態が分かります。
いあつさのせい？	スズキコージ／作	福音館書店	1994	E / ス	とっても暑い日。馬のはいどうさんは、駅に帽子を置きお忘れしました。それを拾ったキツネは、カゴをトイレに忘れしました。そのカゴを、ブタが拾って……。
NO. 22 (2013. AUTUMN)					
ぽぽんぴぽんぽん	松竹いね子／文，ささめやゆき／絵	福音館書店	2012	E / シ	「ぽぽんぴぽんぽん」「おへそはどこ」と聞かれたたろうくんは、お腹を出して「ここ。」と指差します。おさるさんもおへそを出して…。
おつきさまこっちむいて	片山令子／ぶん，片山健／え	福音館書店	2010	E / カ	男の子が、空を見上げて月に話しかけます。「どうして ずーっと、ぼくのあとをついてくるの？」「こんやは ねむそうだね。」…。
あたまにかきの木	小沢正／文，田島征三／絵	教育画劇	1998	E / オ	お酒を飲んで急げてばかりいるじろべえさんが、酔い覚ましに柿を種ごと食べました。すると、頭のてっぺんがむずむずして、柿の木が生えてきました。
どんぐりころころ	大久保茂徳／監修，片野隆司／写真撮影	ひさかたチャイルド	2007	657 / オ	どんぐりには、いろんな種類があるのを知っていますか？くぬぎ、こなら、かしわ……。どんぐりを食べる動物の写真も載っています。
かぼちゃスープ	ヘレン・クーパー／さく，せなあいこ／やく	アスラン書房	2002	E / ク	仲良しのねことりすとあひるは、毎日世界一おいしいかぼちゃスープを作ります。しかしあひるのある一言がきっかけで大ゲンカ。仲直りすることはできるのでしょうか。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 23 (2013. WINTER)					
くつつあるけ	林明子／さく	福音館書店	1986	E / ハ	赤ちゃん用の小さな白いくつが、さんぽに出かけました。走ったり、飛んだり、はしゃぎすぎてころんだり…。
てぶくろ	エフゲーニ・ラチョフ／え，うちだりさこ／やく	福音館書店	1965	E / う	森に落ちていた手袋を見て、ねずみが「ここでくらすことにするわ」。かえるやうさぎなど、動物たちが次々にやってきて、手袋の住人はどんどん増えていきます。
ばばばあちゃんのおもちつき	さとうわきこ／作	福音館書店	1998	C / 5	ばばばあちゃんがお餅を食べていると、お腹を空かせた子どもたちが帰ってきました。でも、お餅はもうありません。そこで、みんなで餅つきをすることに…。
おかしなゆきふしぎなこおり	片平孝／写真・文	ポプラ社	2012	C / 4	大きな雪の帽子をかぶったような小屋、「アイスモンスター」と呼ばれる樹氷など。雪や氷が見せる不思議な形を、美しい写真で紹介しています。
びんぼうがみとふくのかみ	大川悦生／作，長谷川知子／絵	ポプラ社	1980	913 / 0	大晦日の夜。働き者の夫婦の前に、この家に住んでいるという貧乏神が現れました。夫婦ががんばって稼ぐものだから、自分は福の神に追い出されてしまいそうだというのです。
NO. 24 (2014. SPRING)					
もうおきるかな？	まつのまさこ／ぶん，やぶうちまさゆき／え	福音館書店	1998	E / マ	気持ちよさそうに眠っている犬や猫やリスの親子。「よくねているね。」「もう おきるかな？」と繰り返すほのぼのとした絵本です。
ふうとはなとたんぽぽ	いわむらかずお／さく	童心社	2011	E / イ	子ウサギの「ふう」と「はな」は、野原でたんぽぽを見付けました。きれいなきいろいたんぽぽのところには、てんとう虫やみつばちたちがやってきます。
ぼくは一ねんせいだぞ！	福田岩緒／作	童心社	1991	E / フ	この春一年生になるけんちゃん。おばあちゃんからもらったランドセルをみんなに自慢したくて外へ出かけます。でも公園でなくしてしまっ…。
みるなのくら	おざわとしお／再話，赤羽末吉／画	福音館書店	1989	E / オ	うぐいすを追って山奥へ迷い込んだ若者は、美しいあねさまのすむ大きな屋敷にたどり着き泊めてもらいます。次の日、「十二のくら」だけは見ないでくださいねと言われた若者は…。
はるをさがしに	七尾純／文，久保秀一／写真	偕成社	2002	E / ナ	春が来たと思って落葉の下から出てきたてんとう虫。けれども、かたつむりも花もまだ眠ったままです。そこで、てんとう虫は春を探しに行くことにしました。春の初めをとらえた美しい写真絵本です。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 25 (2014. SUMMER)					
ぴょーん	まつおかたつひで／作・絵	ポプラ社	2000	E / マ	「かえるが…」でページをめくると、かえるがお腹を見せて「ぴょーん」。こねこやバツタやうさぎ等、いろいろな生き物がいきおいよく飛び跳ねる、元気のよい絵本です。
おばけなんてないさ	せなけいこ／絵、榎みのり／作詞、峯陽／作曲	ポプラ社	2009	E / セ	「♪おばけなんて ないさ おばけなんて うそさ」みんながよく知っている童謡が絵本になりました。一緒に歌えば、おばけなんか「へっちゃらさ」！？
なつのいちにち	はたこうしろう／作	偕成社	2004	E / ハ	「いってきまーす。」男の子が、元気よく一目散に駆けていきます。男の子が目指しているのは…？高い木の上にいるクワガタでした。
びゅ～んびよ～ん	ふじわらこういち／しゃしん・ぶん	新日本出版社	2011	C / 4	カブトムシが羽を広げて飛び立つ姿やカメレオンがペロを長～く伸ばす様子など、動物たちが動き出す瞬間をとらえた迫力満点の写真絵本です。
うみべのハリー	ジーン・ジオン／ぶん、マーガレット・ブロイ・グレアム／え、わたなべしげお／やく	福音館書店	1980	E / シ	犬のハリーはうちの人と一緒に海にやってきました。ところが、ハリーはかんかん照りの太陽が嫌い。涼しい場所を求めて海辺をさまよいます。
NO. 26 (2014. AUTUMN)					
どうやってねるのかな	やぶうちまさゆき／[著]	福音館書店	1987	E / ヤ	「フラミンゴはどうやってねるのかな」「1ぼんあしでたってねます」。「ラッコは」？「コウモリは」？…。それぞれの格好で気持ちよさそうに眠っています。
おべんともって	森山京／文、片山健／絵	偕成社	2004	E / モ	クマの子のくまちゃんは、林の中で木を切るお父さんにお弁当を届けに出かけます。一緒にご飯を食べた後、林の探検に出かけたくまちゃんは、落ち葉の布団で寝てしまいます。
はしれ!カボチャ	エバ・メフト／文、アンドレ・レトリア／絵、宇野和美／訳	小学館	2008	E / メ	おばあさんは、孫娘の結婚式に向かう途中で、オオカミに出会います。「おまえをくってやる！」と言われたおばあさんは、「かえりにゃ もっと ふとっているよ」とその場を切り抜けられますが…。
なく虫ずかん	松岡達英／え、篠原栄太／もじ、佐藤聡明／おと、大野正男／ぶん	福音館書店	1991	C / 4	「ガチャガチャ」「リーリリー」「シイッチョシイッチョ」…。くらやみや林の中、家の周りなどで鳴いているたくさんの虫たちの鳴き声を紹介した絵本です。
かき	矢間芳子／さく	福音館書店	2004	C / 4	柿には、甘柿と渋柿があります。外から見ただけでは区別が付きませんが、切ってみるとその違いが分かります。また、渋柿は渋を抜くことで、あまくなるのでおいしく食べることができます。

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 27 (2014. WINTER)					
わにわにのおふる	小風さち／さく, 山口マオ／え	福音館書店	2004	E / コ	わにわにはおふるがだいすきです。お風呂に「じょろろーん！」と飛び込んで、おもちゃで遊んだり、あぶくをとばしてみたり…。お風呂に入りたくなる絵本です。
とらたとおおゆき	なかがわりえこ／ぶん, なかがわそうや／え	福音館書店	1989	E / ナ	ある雪の日。とらたは、お父さんが作ってくれたソリに、すずをつけて公園に行きました。鈴の音を聞いて、友達の「とらこ」がとびだしてきました。とらこを乗せて、ソリは進みます…。
ゆきのかたち	高橋健司／監修, 片野隆司／写真撮影	ひさかたチャイルド	2007	451 / タ	どこまでもまっしろく積もった雪や、風に飛ばされて不思議な形になった雪のほか、雪の結晶も載っている写真集です。
十二支のはじまり	岩崎京子／文, 二俣英五郎／画	教育画劇	1997	E / イ	十二支はどうやって始まったのでしょうか？また、干支の最初がねずみなのはどうしてでしょうか、十二支に猫が入ってないのは何故なのか、それには理由があったのです。
ちょろりんのすてきなセーター	降矢なな／さく・え	福音館書店	1991	E / フ	ちょろりんは、寒がりやのとかげの子です。ある日、ちょろりんは、洋品店で暖かそうなセーターを見つけ、そのセーターが欲しくてたまらなくなります。
NO. 28 (2015. SPRING)					
とべたよとべたよ	わかやましずこ／さく	童心社	2013	E / ワ	「びこっ」。卵からかえった小鳥のひなたちは、おとうさんやおかあさんからえさをもらって少しずつ大きくなります。羽も生えて大きくなると、さあ、自分で飛ぶ練習です。
はるがきた	ジーン・ジオン／文, マーガレット・ブロイ・グレアム／絵, こみやゆう／訳	主婦の友社	2011	E / シ	もうすぐ春なのに町は灰色。春はなかなかやってきません。「まってなんかないでさ、ぼくたちでまちをはるにしようよ！」男の子が思いついたアイディアとは!?
いちねんせいのがっこうたんけん	おかしゅうぞう／さく, ふじたひおこ／え	佼成出版社	2008	E / オ	小学校に入学したしゅんちゃんは、ある日、2年生のおにいさんやおねえさんの案内で学校探検をすることになりました。本がたくさんある図書室や、何だかこわそうな理科室…。
ずいとんさん	日野十成／再話, 斎藤隆夫／絵	福音館書店	2005	E / ヒ	むかし、山寺の小僧のずいとんさんは、おしょうさんに留守番を頼まれました。誰もいないはずのお寺で、お経をあげていると、どこからか「ずーいとん」と呼ぶ声が聞こえてきて…。
めだかのぼうけん	渡辺昌和／写真, 伊地知英信／文	ポプラ社	2007	G / 4	春になり水が張られた田んぼに、めだかが集まってきます。めだかは田んぼで産卵し、やがて秋になると川に戻っていきます。見開きを使っためだかの大きな写真は迫力があります。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 29 (2015. SUMMER)					
ひまわり	和歌山静子／作	福音館書店	2006	E / W	土の中の小さなたねは、「どんどこ どんどこ」毎日大きくなっていきます。そして最後に「どん」と太陽のような立派なひまわりの花を咲かせるのでした。
とっくんトラックうみへぶー	いわむらかずお／作・絵	ひさかたチャイルド	2009	E / I	とっくんは、おもちゃのトラックをひっぱりながら海岸を散歩します。波が「ざぶーん」とよせてきた後、かにやひとで達が「トラックに のせて！」とやってきました。
ガンピーさんのふなあそび	ジョン・バーニングム／さく、みつよしなつや／やく	ほるぷ出版	1978	E / H	ガンピーさんが小舟にのって出かけました。そこに子供やウサギ、ネコ、ブタ、ヒツジがやってきて乗り込みました。満員の小舟が川を下っていると、そのうちけんかが始まって…。
アカメアマガエル	ジョイ・カウリー／文、ニック・ビショップ／写真、大澤晶／訳、富田京一／監修	ほるぷ出版	2005	487 / カ	熱帯の森にすむ真っ赤な目をしたアカメアマガエル。夜、餌を探しに出かけると天敵の蛇が追いかけてきました。「あぶない！」。でも、一瞬で全身を弓のように伸ばして遠くのはっぴに「ジャンプ！」…。
めっきらもっきらどおんどん	長谷川摂子／作、ふりやなな／画	福音館書店	1990	E / H	かんたは、友達を探して神社へやってきました。すると木の根元の穴から声が聞こえてきます。覗き込んだかんたは、ひゅうっと吸い込まれ、着いたところは夜の山でした…。
NO. 30 (2015. AUTUMN)					
さーかす	ディック・ブルーナ／ぶん・え、いしいももこ／やく	福音館書店	1964	E / W	自転車に乗るおさるさん、綱の上を歩く小さな男の子、キャッチボールが得意なおットセイ…。楽しそうな「さーかす」を紹介しています。
どんぐりむし	藤丸篤夫／しゃしん、有沢重雄／ぶん	そうえん社	2013	C / 4	秋になると公園などに落ちているいろいろなどんぐり。その中に隠れている小さなどんぐりむしの成長を紹介した写真絵本です。
おふろだいすき	松岡享子／作、林明子／絵	福音館書店	1982	E / マ	ぼくはおふろが大好き。あひるのプッカを連れて入ると、なんとかめやペンギン、おットセイやカバまで出てきました。みんな気持ちよさそうです。
たべられるきのみ	菅原久夫／文、高森登志夫／絵	福音館書店	1985	C / 6	やまぶどうやあけび、しいなど、野山には食べられる木の実がたくさんあります。色鮮やかに熟した実は、どれもおいしそうです。
おどりトラ	金森襄作／再話、鄭【スク】香／画	福音館書店	1991	E / カ	深い山奥に、「おどりトラ」と呼ばれる踊りの大好きなトラがいました。ある日、おどりトラは狩りの途中で踊りだして獲物を逃がしてしまったため、仲間のトラ達に山から追い出されてしまいます。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 31 (2015. WINTER)					
いいこねんね	内田麟太郎／ぶん，長谷川義史／え	童心社	2015	E / ウ	「いいこねんね」と歌ってもらった動物の子供たちは、みんなぐつぐつ眠りにつきました。男の子も、母さんに歌ってもらいます。
バムとケロのさむいあさ	島田ゆか／作・絵	文溪堂	1996	E / シ	あるとても寒い日、バムとケロはスケートぐつと釣り道具を持って、家の裏の池に行きました。すると、池と一緒に凍って動けなくなっているあひるを見つけます。
トントントンをまちましょう	あまんきみこ／作，鎌田暢子／絵	ひさかたチャイルド	2011	E / ア	夕方から雪が降り出しました。それを見たお母さんは、大きな鍋いっぱい甘酒を作ります。すると「トントントン」と玄関のドアをたたく音がしました。
おふろやさん	西村繁男／作	福音館書店	1983	E / ニ	あっちゃんは、お家の人と一緒に町の中にある大きなおふろやさんにやってきました。入口で男湯と女湯に分かれて、脱衣場で服を脱いで、せっけんで体を洗って、湯船で温まって…。町の銭湯の一部始終を描いた絵本です。
ふゆのむし	藤井醇／ぶん，三芳悌吉／え	福音館書店	1984	C / 4	こういちが飼っているクワガタムシが、逃げ出してしまいました。探しても見つかりません。冬になって、雑木林に行ってみると、そこにはたくさんの虫が隠れていました。
NO. 32 (2015. 2. 5)					
さよならさんかく	わかやまけん／絵，森比左志／文，わだよしおみ／文	こぐま社	1979	E / ワ	「しかくはなあに」，「しかくはとうふ」，「とうふはしろい」と、こぐまちゃんがリズムに合わせて歌います。
ようちえんのはる・なつ・あき・ふゆ	おかしゅうぞう／さく，ふじたひおこ／え	佼成出版社	2010	E / オ	春から幼稚園に入園したゆきちゃん。幼稚園ってどんなところかドキドキしています。
みつばちマーヤ	ボンゼルス／原作，熊田千佳慕／絵，正岡慧子／文	世界文化社	2011	E / ホ	蜜を集めるために、初めて空を飛んだマーヤ。美しい景色に心を奪われてうっとりしていると、助けを求める声が聞こえてきました。
ぽとんぽとんはなんのおと	神沢利子／さく，平山英三／え	福音館書店	1985	E / カ	クマの親子が、穴の中で冬ごもりをしていました。外から聞こえてくる不思議な音。「なんのおと？」とたずねる坊やに、お母さんは優しく答えます。
ひやくにんのおとうさん	譚小勇／文，天野祐吉／文，譚小勇／絵	福音館書店	2005	E / タ	働き者の若い夫婦が畑を耕していると、土の中から大きなかめが出てきました。なんとそのかめは、中に入れたものが百倍になって出てくるかめでした。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 33 (2016. 4. 20)					
きゅつきゅつきゅつ	林明子／さく	福音館書店	1986	E / ハ	赤ちゃんとぬいぐるみたちが、スープを飲んでいます。「あっ」。こぼしてしまいました。赤ちゃんは、自分のよだれかけをはずして「きゅつきゅつきゅつ」とふいてあげます。
きょうりゅうきょうりゅう	バイロン・バートン／さく・え、なかがわちひろ／やく	徳間書店	2000	E / ハ	「おおむかし きょうりゅうが いた」。子供たちの好きな恐竜が、たくさん出てきます。角の生えた恐竜や首が長い恐竜…。
かさどろぼう	シビル・ウェッタシンハ／作・絵、いのくまようこ／訳	徳間書店	2007	E / ウ	傘のない村から生まれて初めて町に出てきたキリ・ママおじさん。村の人々に見せようと傘を買って帰るのですが、お店でコーヒーを飲んでいると誰かに傘を盗まれてしまいました。
たにし長者	岩崎京子／文、長野ヒデ子／画	教育画劇	1996	E / イ	ある夫婦が、水神様に子供を授けてくれるようお願いしました。水神様がくれたのは、何と小さなたにしでした。夫婦はたにしを大切に育てます。
とびっきりのおむかえ	ニコラ・チンクエッティ／作、ウルスラ・ブッヒャー／絵、やまねかずこ／訳	きじとら出版	2016	E / チ	ジョバンニは、幼稚園でおじいちゃんのお迎えを待っていました。他の子がみんな帰って一人になると、おじいちゃんにそっくりの緑色の目をした猫が現れました。
NO. 34 (2016. 7. 5)					
アリのおでかけ	西村敏雄／さく	白泉社	2012	E / ニ	小さなアリさんたちは小さなバスに乗っておでかけです。バスは、がたがたとごととする道や、山のような道を走ります。実はその道は…？
おばけこわくないぞ！	石津ちひろ／作、石井聖岳／絵	あかね書房	2006	E / イ	一人で留守番をしていたツヨシは、「おばけがでてきたらどうしよう」と考えました。もしも「かさおばけ」が出てきたら、海に連れて行ってビーチパラソルにしよう。「てんぐ」や「かっぱ」が現れたら…！？
うみぼうず	岩崎京子／文、村上豊／画	教育画劇	2000	E / イ	お盆はご先祖様の霊が帰ってくるため、どの村も漁をしない決まりです。しかし、若者たちは海に出ていってしまいました。すると、霧が出てきて…。
なつやすみ虫ずかん	稲田務／え、宮武頼夫／ぶん	福音館書店	1991	C / 4	夏の間に出会うことができる虫を紹介している絵本です。クワガタムシや、トンボなどの虫たちの姿や特徴が詳しく紹介されています。
ちいさなヒッポ	マーシャ＝ブラウン／さく、うちだりさこ／やく	偕成社	1983	E / フ	かばの子供のヒッポは、お母さんといつも一緒です。ある日、お母さんがかばの言葉を教えてくれましたが、ヒッポはまだうまく喋れません。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 35 (2016. 9. 5)					
おおきなあかいりんご	たるいしまこ／さく	福音館書店	2005	E / 夕	大きな赤いりんごが木になっています。くまさんがひとつもっていききました。りすさん、からすさん、と次々にやってきて、最後にひとつ残ったりんごは、どうなったでしょう…!?
どんぐり	エドワード・ギブス／作, 谷川俊太郎／訳	光村教育図書	2014	E / キ	地面に落ちた黄色いどんぐりを食べようと、次々と動物がやってきました。しかし、どんぐりは「いまにもっとおいしくなるから」まだ食べないでほしいと言います。
こんとあき	林明子／さく	福音館書店	1989	E / ハ	ぬいぐるみのこんと女の子のあきは、あきが生まれた時から、いつも一緒です。ある日、こんとあきは、ほつれたこんの腕を直してもらうために、おばあちゃんのいる「さきゆうまち」まで旅をする事になりました。
干し柿	西村豊／写真・文	あかね書房	2006	C / 5	渋くてそのままでは食べられない柿を、甘い干し柿にするにはどうすればいいでしょうか。皮をむいて、ひもでつないで、干して…という工程を、順を追って描いた写真絵本です。
ながいでしょりっぱでしょ	サトシン／作, 山村浩二／絵	PHP研究所	2014	E / サ	ゾウが、「ながいでしょ、りっぱでしょ」と自分の鼻をニワトリに自慢しています。ヘビやキリンもそれぞれの「長い」ところを自慢しました。
NO. 36 (2016. 11. 5)					
さんさんさんかく	得田之久／ぶん, 織茂恭子／え	童心社	2008	E / ト	赤と緑の三角が集まって、「ぶちぶち ぶっちん」。いちごになりました。黄色とオレンジの三角が集まって、「くるくる くるん」。さて、何になるでしょう?
とりかえっこ	さとうわきこ／作, 二俣英五郎／絵	ポプラ社	1978	E / サ	遊びに出かけたひよこは、ねずみやぶたなど出会った動物と鳴き声をとりかえっこすることにしました。「ぴよ」「ちゅう」…。
おおさむこさむ	こいでやすこ／さく	福音館書店	2005	E / コ	ある雪の日、狐のきっこ達は外に遊びに行こうとしました。ところが、おばあちゃんは、雪の日にはこわいゆきぼうずが出るから家にいたほうがよいと言います。
きらきら	谷川俊太郎／文, 吉田六郎／写真	アリス館	2008	E / 夕	「きれいだね てんからおちてきた ほしみたい」。凍えるような寒さの中で顕微鏡撮影された天然の雪の結晶の写真絵本です。雪の結晶は六角形が基本ですが、まったく同じものはありません。
まほうのなべ	ポール・ガルドン／再話・絵, 晴海耕平／訳	童話館出版	1998	E / カ	女の子の家は大変貧乏で、その日食べるものにも苦労していました。ある日森へ食べ物を探しに行った女の子は、おばあさんに魔法の鍋をもらいます。

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	「ママンペール」掲載文
NO. 37 (2017. 2. 5)					
あー・あー	三浦太郎／さく・え	童心社	2013	E / ミ	ヤギは「めー・めー」、牛は「もー・もー」。温かいご飯を冷ます時の「ふー・ふー」や、「ぎー・ぎー」という雨の音など赤ちゃんに身近な言葉が書かれています。
はるですよふくろうおばさん	長新太／作・絵	講談社	1996	E / チ	ふくろうおばさんはとっても寒がり。からだですっぽり入るセーターを着てもまだ寒いので、大きな袋を編んで、住んでいる木にかぶせました。それでも寒いので隣の木にもその隣の木にも袋を編んでかぶせました。
もりのてがみ	片山令子／さく、片山健／え	福音館書店	2006	E / カ	寒い冬、ひろこさんは姿を見せなくなった森の動物たちに手紙を書きました。「はるになって もりに すみれがさいたら、このもみのきのしたでまっています」。
せかい1 おいしいスープ	マーシャ・ブラウン／さいわえ、わたなべしげお／やく	ペンギン社	1979	E / フ	ある時、三人のはらべこの兵隊が村にやってきて、食べ物を分けてくれるように頼みました。しかし、村には分けられるほどの食糧がなかったため、村人たちは、食べ物をみんな隠してしまいました。
つるとかめ	梶山俊夫／絵	鈴木出版	1989	E / カ	亀は、空を飛ぶ鶴にあこがれていました。ある日、鶴は背中に乗せてあげようと亀に言いました。ただし、乗っている間は何かがあってもしゃべってはいけないと鶴は言います。
NO. 38 (2017. 4. 20)					
あーそーぼ	やぎゆうまちこ／さく	福音館書店	2016	E / ヤ	女の子が友だちの家に行って「あーそーぼ」と声をかけますが、友だちは掃除をしていたり、お風呂に入っていたり…。
はがぬけたよ	安江リエ／作、山口マオ／絵	福音館書店	2016	E / ヤ	こうじには、もうすぐ抜けそうな歯があります。それを見たお父さんは、子供の頃ちょっと変わった方法で歯を抜いたことを話してくれました。歯を抜くために糸で結びつけたものとは…？
はなさかじい	松谷みよ子／[著]、西村繁男／[画]	童心社	2008	E / マ	昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。ある日、かわいがっていた犬のシロがこう言いました。「ワン、ワン、ここほれワンワン」。